

□ トピック □ 奄美大島で「ミカンコミバエ」再侵入確認

奄美大島においてミカンコミバエが再侵入し、収穫期を迎えているポンカンが、国の廃棄処分命令により全廃棄され、現在当該地域は、ポンカンやタンカンなど規制対象植物の島外持ち出しが禁止される「特定移動制限区域」に指定されています。本種は成虫の体長7mm程度のハエで、柑橘類、ナス、トマト、ピーマンなど、様々な農作物の果実を食害し、商品価値をなくしてしまうため、その地域の農作物に壊滅的な被害を及ぼす恐れがあり、現在大きなニュースになっています。

1972年に沖縄県が本土復帰を果たす前、本種とウリミバエの生息が確認されていました。これらの種が発生している地域からの農作物の移動は禁止されているため、かつては南西諸島からの農作物は移動できませんでした。このため、フェロモントラップ(メチルユージノール、またはメチルオイゲノール)によるオス除去法と不妊虫放飼法という手法を用いてミカンコミバエの根絶事業が実施され、1985年までに根絶が成功しました。オス除去法はすでに外国で成功していましたが、この不妊虫放飼法を確かな技術に確立したことは国際的にも高く評価されています。

今回のミカンコミバエは、南西諸島からの再侵入(飛来してきた?)が疑われていますが、農家の方には死活問題となっています。今後、早期の封じ込めと早期根絶に向け、フェロモントラップなどによる調査と駆除が強化されると考えられます。ぜひ注目してみてください。

□ お知らせ □ フェロモントラップの活用



各種フェロモントラップに捕獲された貯蔵害虫類

フェロモントラップは、対象となる害虫の生息状況を効率よく調査するためにはなくてはならない資材の一つとなっています。農業害虫以外にも、屋内では貯蔵穀物害虫であるタバコシバンムシやマダラメイガ類に対して「ニューセリコ」や「ガチョン」がよく利用されています。特にマダラメイガ類の1種であるノシメマダラメイガは、ライトトラップでは捕まりにくいことから、「ガチョン」を利用することが効果的です。また、中国向けの輸出精米では、精米施設および燻蒸倉庫におけるマダラカツオブシムシ属3種に対し、フェロモントラップを利用した調査が義務付けられています。



ノシメマダラメイガ

害虫は気温などの条件によっては冬季でも発生することがあります。また、一方で、害虫がいないことを客観的に証明する必要性も高まっています。フェロモントラップは対象となる害虫の捕集力が高いため、虫の個体数が少なく、不活発な時期でも効果を発揮することから、特定の虫に対しては冬場でも適正が高い調査資材と言えます。効果的な調査やその使用方法など一度お気軽にご相談ください。

□ 豆知識 □ 今年は「さる年」

あけましておめでとうございます。今年は「さる年」です。一般に今年の干支は申年という表現をしますが、干支とは十干と十二支のことですから、正確には2016年の干支は「丙申」(ひのえさる)ということになります。

「さる」と言えば、動物の中で知能が高く、賢いという側面と、分類的に人間に近い存在でありながらその知能に及ばないという側面があります。孫悟空のような前者のイメージから出ているものもありますが、多くは「猿知恵」、「猿真似」といった後者のイメージで語られることが多いのではないでしょうか。英語でも不恰好な模倣を「ape」と表現します。いずれにせよ、日常生活にはほとんど関わりのない動物でありながら、人間にとって特別な存在であることは間違いないでしょう。

また、世界では日本で言われる十二支がちよっと違う国がたくさんあります。例えば、中国では、亥(猪)が豚、ベトナムでは、牛(丑)は水牛、卯(兔)は猫、未(羊)は山羊になり、モンゴルでは、寅(虎)が豹になります。猫好きな人は、猫年のベトナムに行ってみると、楽しいかもしれませんね。



総合衛生コンサルタント・生物害防除

東洋産業株式会社

URL: <http://www.to-yo-s.co.jp>

本社: 岡山県岡山市北区新屋敷町3-19-20

TEL(086)241-8080 FAX(086)241-8094

拠点: 大阪, 姫路, 岡山, 倉敷, 福山, 広島, 高松, 松山
関東(市川)